

め、更なる子育て支援策の充実を図っていきたい。

**問** 子ども医療費無料化の拡大は、子育て支援の大きな柱である。県内63自治体のうち、入院はすべての自治体で、通院は62自治体が中学校卒業まで無料となっており、その中でも、4自治体が高校卒業まで無料としている。

市民の願いでもある、安心して子どもを産み育てられるまちづくりのため、医療費無料化は高校卒業まで拡大すべきではないか。また、拡大に伴う費用の試算は。

**答** 本市の子ども医療費助成制度は、県内においても高水準と認識している。当面は、現状を維持していきたい。試算では、約3400万円となっている。

**問** 平成25年度決算では、黒字が約14億4千万円、財政調整基金と合わせ約30億円という市民の大切な税金がある。その一部で医療費無料化の拡大が実現できるのではないか。

**答** 財政に与える影響は、非常に大きくなるため、現状を維持していきたい。

●保育料の引き下げを

**問** 来年4月から、子ども・子育て新制度が実施されるが、多くの保護者から保育料が高いくという声がある。保育料の引き下げをすべきではないか。

**答** 新制度における保育料は、今後、試算を行い、利用者に影響が及ばないよう努めたい。「その他の主な質問」

○住宅リフォーム制度の復活

**まちづくり**

**J R 行田駅前再整備**

**多くの方の意見を**

**取り入れて**

**梁瀬 里司**

(黎明21)

**問** J R 行田駅前広場周辺の再整備について、今後どのように推進していくのか。

**答** 再整備に向けた基本計画を本年度策定するため、駅利用者アンケートや駅前広場の利用実態調査、太井地区及び駅周辺の土地利用者へのアンケート調査を実施している。

また、10月から11月にかけてワークショップを開催し、広く意見をとり入れることや、基本計画検討委員会を設置し、審議する予定である。

**問** 駅前整備の進展は地元にとつては悲願である。地元の方々の意見を取り入れてもらいたいと考えるが、太井地区や地元地区に説明会や懇談会などを開催することは考えているのか。

**答** 多くの意見を取り入れるため、太井地区を対象にしたアンケート調査を実施。説明会等としては、太井公民館でワークショップを開催する。



J R 行田 駅

●道の駅等の設置について

**問** 「行田市産業振興ビジョン」には、地域商圏を活かした広域交流拠点の整備が謳われている。本市の情報発信の拠点、交流人口の拡大、商業・農業・観光業など、行田市の発展のため、「道の駅」もしくは「同様の機能を有した交流拠点」の設置が必要と考えるがどうか。

**答** 国道125号バイパス沿線に道の駅を基本とする多機能な交流施設の設置を想定している。

**問** 今後、道の駅等の設置についてはどのように考え、進めるのか。

**答** 考えについては、新たなにぎわいの創出、地域産業の活性化が図られるものと考えている。進め方については、土地利用についての法的な問題や財政面の問題等があるが、長期的な展望に立ち、一つ一つ課題をクリアしながら、実現に向けて取り組んでいく。

**市民サービス**

**水道の漏水の**

**市民負担・**

**境界線について**

**石井 直彦**

(しんりよく会)

**問** 平成25年9月議会の答弁では、「官民境界付近の水道の漏水について、民地内の修理は利用者負担が適当である。

しかし、県内では、メーターまで、あるいは止水栓まで業者負担が大多数である。今後、民地内の漏水修繕は、給水管の適正管理、市民サービス

スの観点から、条件や財政状況を踏まえ検討する。」としていた。

現在、埼玉県内の水道事業者59団体のうち、止水栓、あるいはメーターまでの修理を負担している団体は57団体、官民境界線までの負担は、行田市を含めて2団体のみとなっているが、民地内の修理は、利用者負担が適当であると今でも判断しているのか。

**答** 本市の水道事業を取り巻く環境は、厳しさを増しており、負担区分の見直しは、今後の社会情勢や財政状況を見据え、総合的に見きわめたい。

●総合公園プール跡地の利用計画について

**問** 総合公園自由広場の利用が殆ど満杯で、スポーツ施設が不足している今、プール跡地の利用価値は大変高い。

スケジュールと資金計画について、平成25年4月から利用の方向性を検討してきた。

また、平成26年2月に行田市スポーツ推進審議会に諮問し、「審議会の答申後、市として順次整備する、更に資金計画は整備内容が固まった段階で検討する。」とあった。